

第3章 地域の現況を把握する

地域で利用できる公共交通の現状や地域の方がどのようなことに困っているのか、また、近い将来について不安に思っていることなどを調査します。地域の状況を詳しく把握し見える化することで、具体的な検討を進める材料とします。

3-1 既存の公共交通の状況把握

地域にある既存の公共交通等を把握しましょう。既存のサービスにより解決できることと、検討が必要なことを明らかにすることができます。

既存の公共交通を調べる場合は、まずは市町村の交通担当に確認します。必要に応じて、各事業者へのヒアリングを行います。

ヒアリング項目

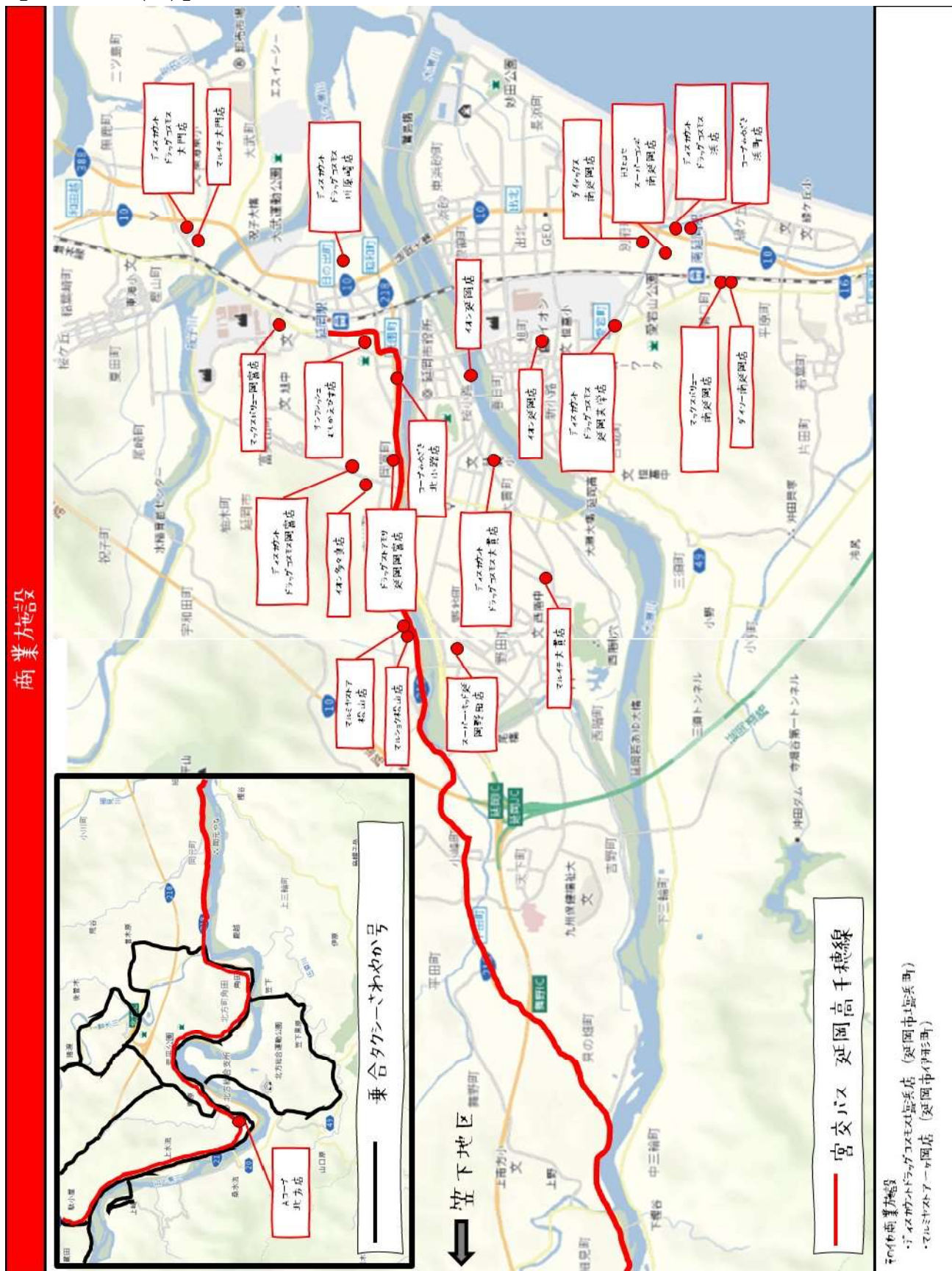
交通手段	管理者	調査項目	資料
<input type="checkbox"/> 鉄道・路線バス ※1	交通事業者	<input type="checkbox"/> 運行エリア(走行ルート) <input type="checkbox"/> 駅・バス停の位置 <input type="checkbox"/> 運行時刻 <input type="checkbox"/> 料金	<input type="checkbox"/> 路線図 <input type="checkbox"/> 時刻表
<input type="checkbox"/> コミュニティバス	市町村交通担当	<input type="checkbox"/> 運行エリア(走行ルート) <input type="checkbox"/> バス停の位置 <input type="checkbox"/> 運行時刻 <input type="checkbox"/> 料金	<input type="checkbox"/> 路線図 <input type="checkbox"/> 時刻表
<input type="checkbox"/> タクシー	交通事業者	<input type="checkbox"/> 運行エリア <input type="checkbox"/> 料金	
<input type="checkbox"/> 福祉タクシー	交通事業者	<input type="checkbox"/> 運行エリア <input type="checkbox"/> サービスの内容 <input type="checkbox"/> 対象者 <input type="checkbox"/> 料金	
<input type="checkbox"/> 福祉関連バス	福祉事業者	<input type="checkbox"/> サービス内容 <input type="checkbox"/> 対象者 <input type="checkbox"/> 頻度 <input type="checkbox"/> 料金	
<input type="checkbox"/> スクールバスなど ※2	学校など	<input type="checkbox"/> 運行エリア(走行ルート) <input type="checkbox"/> 対象者 <input type="checkbox"/> 頻度 <input type="checkbox"/> 料金	
<input type="checkbox"/> 買い物やお出かけ などの支援事業 ※3	市町村福祉担当 社会福祉協議会	<input type="checkbox"/> サービスの内容 <input type="checkbox"/> 対象者 <input type="checkbox"/> 頻度 <input type="checkbox"/> 料金	

※1 鉄道や路線バスなどと連携した運行計画を立てる場合には必要。

※2 子ども達の送迎も視野に入れる場合には、保育園・幼稚園・小中学校・高校などのスクールバスの情報もあるとよい。

※3 地域によっては、お出かけ支援事業や買い物支援事業などを行っている場合がある。

【まとめ方 (例)】



3-2 移動ニーズの調査

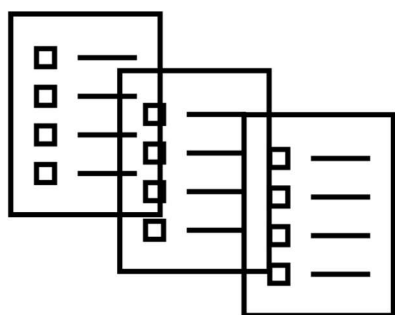
地域で、どこにどれくらいの人がどのような目的の移動に困っているのか、どのくらいの人が近い将来の移動への不安をいっているのかなどについて、ヒアリング調査を行います。

ここでは、ニーズ調査の方法の一つをご紹介します。

● Step1 移動支援が必要な方のマップを作る

地域内で、現在又は将来（5～10年くらい先）に支援が必要となる可能性のある方について抽出します。

誰がどこに住んでいるかを知る必要があるため、地区長、班長、民生委員などと連携しながら作業を行うと効果的です。

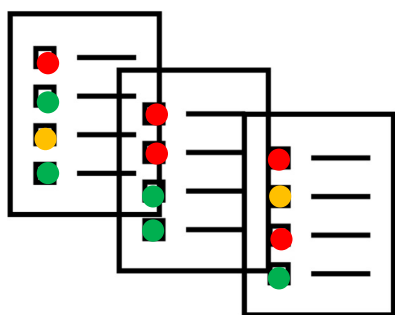


①調査対象者の抽出

- ・移動支援サービスの対象となりそうな方を抽出し、一覧表をつくります。

(抽出ポイント！)

- ・高齢者を中心とした移動支援の場合
⇒65歳以上の方がいる世帯
- ・子どもの移動支援も含める場合
⇒子ども（高校生まで）のいる世帯



②サービスのレベル分け（想定）

- ・移動支援ニーズの緊急度について、次の表を参考にレベル分けを行います。



③移動支援マップをつくる

- ・地図上に色分けしながらシールと番号をつけていきます。

【レベル分けの例】

レベル	色	状況	例
レベル 3	赤	今すぐにでも支援を必要としている	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者のみの世帯 ・車の運転ができない ・近くに身内がおらず、頼れない ・日常的なゴミ捨てなどで困っている
レベル 2	黄	近い将来、支援が必要になる	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者のみの世帯 ・車の運転はできないが、近くに身内が住んでいて助けてもらえる環境 ・今は運転できるが近い将来免許返納の予定又は迷っている
レベル 1	緑	将来的に、支援が必要になる	<ul style="list-style-type: none"> ・近く運転免許を返納又は迷っている

※この段階では、あくまで想定です。この後のヒアリングやアンケート調査で確認していきます。

【準備するものリスト】

- 集落が入る大きな地図
(住宅の位置がわかるくらいの地図)
→手元にない場合は、市町村に相談
してみましょう。
- 丸シール (3~4色)
- マーカー
- 一覧表をつくるためのA4用紙



● Step2 ヒアリング調査・アンケート調査

Step1 で作成した支援が必要な方のマップや一覧をもとに、対象となる世帯（個人）へ訪問したりアンケート調査票を配布するなどして調査を行います。対象者は、レベル2～3の方を優先的に行います。

【調査項目例】

	調査項目	質問	回答項目例
1	家族構成 移動の実態 ※1	家族構成	一人暮らし、夫婦二人、親と子、親と子と孫など
		同居家族の移動の実態 (同居家族全員)	年齢、運転免許の有無、自分用の車の有無、公共交通利用の有無 買い物に行く人、通院のある人
		免許返納の意思について (65歳以上の方のみ対象)	返納済み、次の更新で返納予定、5年以内に返納予定、将来的(5年以上先)に返納予定
2	外出の目的や移動手段など (支援対象者のみ)	①買い物 ②病院 ③その他日常的に行く場所	施設名、施設のある地区名、曜日、頻度、外出の時間帯、帰宅の時間帯、移動手段
3	現在の移動に関する困りごとや不安	今困っている事、将来の不安	
4	移動に関する助け合いの有無	ご近所での助け合いがあるか、それはどのようなものか	

※1 調査内容については、プライベートに関することも含まれるため、地域の状況に応じて目指す移動支援に必要なと思われる項目を選択しましょう。また、個人情報保護の観点から、調査結果はしっかりと管理しましょう。

※2 ヒアリング・アンケート調査シート、調査結果のまとめは第8章(3)(P62)参考様式を参照

ポイント！

- ・調査前に、回覧板などで調査の目的などをお知らせしておくスムーズだよ！
- ・地区長や班長など顔見知りの方が同行すると、聞かれる方も安心して対応できると思うよ！
- ・ヒアリング調査は、聞き役と記録役の2人1組だとスムーズだよ！

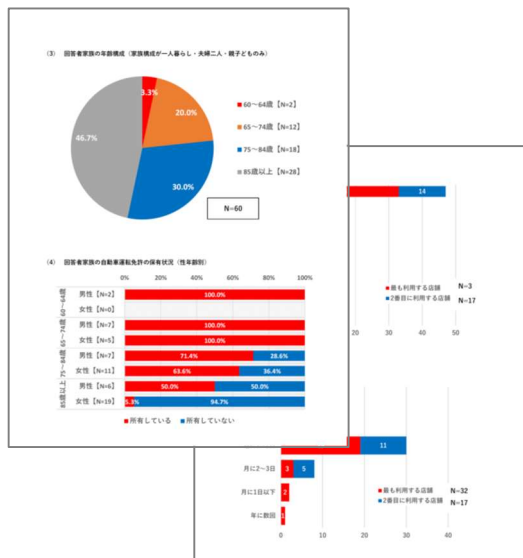


● Step3 調査結果のまとめ

①調査結果の集計

以下の項目について集計します。

- ・移動支援が必要な人の人数
- ・外出の目的地（買い物、病院は分ける）
- ・外出の曜日
- ・外出の時間帯



ポイント！

- ・多い順に並べておくとわかりやすいよ！
- ・左のようなグラフにすると分かりやすいけど、文章だけでまとめても大丈夫だよ！



②目的地マップの作成

地図上で目的となる施設に印をつけます。

